

医学系研究に関する情報公開および研究協力のお願

聖隷浜松病院では、当院の臨床研究審査委員会の承認を得て、下記の医学系研究を実施しております。

研究の実施にあたり、対象となる方の既に存在する試料や情報、記録、あるいは、今後の情報、記録などを使用させていただきますが、対象となる方に新たな負担や制限が加わることは一切ありません。

ご自身の試料や情報、記録を研究に使用してほしくない場合や研究に関するお問い合わせなどがある場合は、以下の「問い合わせ窓口」までご連絡下さい。研究への参加を希望されない場合、研究対象から除外させていただきます。研究への参加は自由意思であり、研究に参加されない場合でも、不利益を受けることは一切ありませんのでご安心下さい。

研究課題名	重要臓器隣接のリンパ節オリゴ転移に対する通常分割放射線治療(72 Gy/30回 vs 60 Gy/30回)の局所制御に関する後方視的検討
研究責任者	聖隷浜松病院 放射線治療センター 部長 祢里 真也
研究実施体制	本研究は聖隷浜松病院 放射線治療センターのみで実施される単施設研究です。
研究期間	臨床研究審査委員会承認日 ~ 2030年3月31日
対象者	2011年1月から2025年12月までに当院放射線治療センターにおいて、重要臓器に隣接するリンパ節オリゴ転移に対し72 Gy/30回または60 Gy/30回の通常分割放射線治療を受けられた患者さん。
研究の意義・目的	重要臓器(消化管、大血管、脊髄など)に隣接し、定位放射線治療(SBRT)の適用が困難な少数転移リンパ節に対する通常分割放射線治療では、至適線量に関するコンセンサスが得られていません。本研究では、当院で行われた72 Gy/30回および60 Gy/30回の照射成績を後方視的に比較・解析し、組織型ごとの線量設定に関する科学的根拠を得ることを目的とします。本研究の成果は、今後同様の状況にある患者さんの治療方針決定に資すると考えられます。
研究の方法	診療録および放射線治療計画装置から、患者さんの背景(年齢・性別・原発巣・組織型・病期等)、治療内容(処方線量・分割回数・標的体積等)、治療成績(局所制御・全生存・有害事象)に関する情報を匿名化のうえ収集し、統計学的解析を行います。本研究で新たな診察・検査・治療介入が行われることはなく、患者さんに追加の負担や不利益が生じることはありません。
個人情報の取扱い	本研究で利用する資料や情報、記録からは、直接ご本人を特定できる個人情報は削除した上で、研究成果は学会や雑誌等で発表されます。取り扱う情報は、厳密に管理し、外部に漏洩することはありません。なお、個人情報の利用目的等について詳細をお知りになりたい場合は、「問い合わせ窓口」までご連絡下さい。
個人情報開示に係る手続き	個人情報開示の手続きについては、「問い合わせ窓口」にご相談下さい。
資料の閲覧について	ご要望があれば、開示可能な範囲で、この研究の計画や方法について資料をご覧ください。ご希望の方は、「問い合わせ窓口」までご連絡下さい。
問い合わせ窓口	聖隷浜松病院 放射線治療センター 部長 祢里 真也 TEL:053-474-2222(代表) 放射線治療センター 9:00~17:00 平日